



ユニオンニュース・掲示回覧用

私たちの地域合同〔第10回〕

今回からワールド印刷争議について振り返ります。

ワールド印刷分会は今から44年前、1974年3月2日に結成されました。職場は技術的には大阪でシェアNo.1を誇るほどでしたが、規模としては従業員約10人の小さな印刷会社でした。そこで月給制、強制的休日出勤の是正、労災補償、交通費支給などを求めて8人の労働者が立ち上がりました。

結成通告の場では3日後の3月5日に団交を約束したM社長でしたが、その日のうちに工場長を委員長とする、第2組合を結成させました。これを知った分会は4日早朝に工場長を問いただし、不当行為を認めさせた上で解散通知を書かせました。さらに第2組合に加入した3人の労働者は分会に入会しました。この状況にM社長は「企業解散」を宣言し、団交を拒否したため、5日には分会として労働委員会に申立を行い、同時に不測の事態に備えて交代で会社に泊まり込みました。

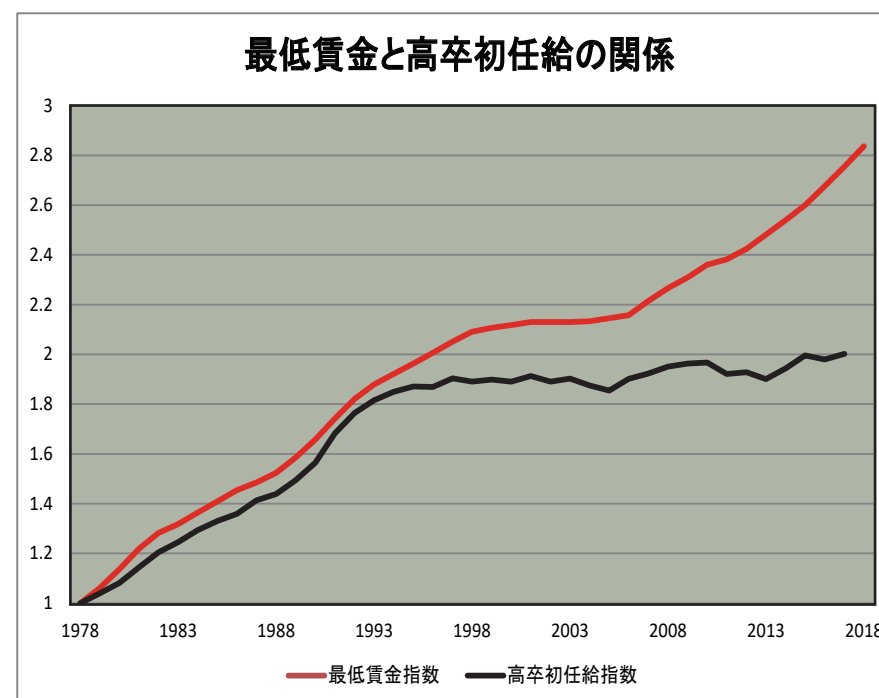
連日団交をもち、8日にはM社長は不当行為を謝罪し、労使関係の正常化を約束しました。そこで私たちは労働委員会への申立を取り下げ、第1ラウンドが終了しました。しかしこれは今後の長い闘いの前触れに過ぎなかったのです。

最低賃金 936円に

10月1日から大阪府の最低賃金が27円UPの936円となる見込みです。1日8時間労働とすれば日額は7488円、月平均所定労働時間が173時間だとすると、16万6499円(基本給)になります。職場にこれ以下の賃金で働いている人がいないかチェックしましょう。

最低時給	936円
最低日給 1日8時間として	7488円
最低月給 月所定労働時間173時間として	166,599円

初任給との関係も重要です。下のグラフは大阪府の最低賃金と全国の初任給の変化をグラフにしたものです。初任給はバブル崩壊後停滞しています。一方最低賃金はこの10年ほどで30%以上上昇しています。のびだけではなく絶対額としても右の表で見るようにつき所定労働時間を173時間とすれば最低賃金で働いた場合でも16万円を超えることになります。今年の大阪府の高卒の初任給の平均値は男子で約



※1978年を1とした場合の伸び率の比較。最低賃金は大阪府。高校卒初任給については厚生労働省賃金構造基本統計調査、企業別新規学卒者男子の初任給の推移(2017年11月15日公開)の従業員規模10人～99人のデータを加工。なお企業規模を変えても傾向はそれほど変わらない。

17万円、女子では16万8700円と、ほぼ最低賃金に追い付かれつつあります。(平成29年賃金構造基本統計調査結果(初任給)府県別統計による)

この調査は大企業も含む平均値ですから10月には追い付かれてしまう企業もかなりあるはずです。労働組合としては初任給が最低賃金レベルであることを問題視し、初任給の底上げ＝賃金全体のベースアップを求めていきたいと思います。



「7.30実現しよう!『誰もが時給1000円』最低賃金アピール集会」で力強く発言する大阪地域合同労組トライメディカル分会の渡辺分会長。この後約200人で御堂筋をデモ行進し、最低賃金の大幅引き上げを訴えた。



大阪府調査

夏季一時金受給情報

大阪府の受給状況の最終報が出ました。(調査の詳細は大阪府HP参照) 受給の詳細が判明する457組合の加重平均は

受給額 75万8320円(2.45ヶ月)
対前年比+7920円、+0.01ヶ月

299人以下の中小企業では

受給額 57万1633円
対前年比+8474円、+1.5%

でした。特に前年度、本年度ともに詳細のわかる342組合に関しては80万358円(2.56ヶ月)と80万円を超えました。中小企業でも前年比+11,707円+2.1%と労働組合がしっかり活動している企業では一時金についても着実に成果が上がっているといえます。分野別では製造業の伸びが大きかったようです。